

肩掛けハンカチのご紹介

学校でも新型コロナウイルス感染予防のため、手を洗う機会が増えていきます。

手を拭く際、ハンカチの出し入れに苦労している子や、ぐっしょりと濡れてしまったハンカチをポケットにしまっている子が多いようです。

そこで、肩から掛けるタイプのハンカチをご紹介します。

写真のように肩から掛けることで、ハンカチの出し入れの手間がなく、通常のハンカチより大きめのものを使うことができます。また、ポケットに入れないので、掛けている間に少しずつ乾いていきます。



作り方は以下の通りです。

- 材料 タオル地のハンカチ（35cm×35cm 程度のものが適当です）
ヘアゴム（太いもの1m程度）※ひもは引っかけたときに危険なので使いません
ボタン（直径2～3cmのもの）※ボタンがなければペットボトルのキャップでも可

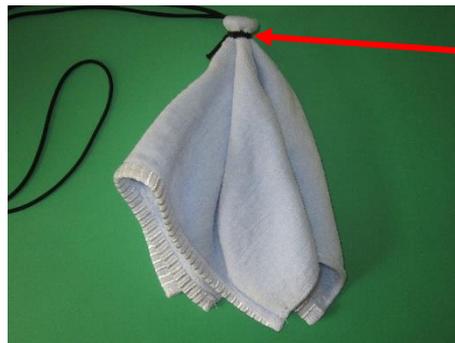
作り方

- 1 お子さんの体格に合わせてヘアゴムをカットします。
このとき、肩から斜めがけにして腰の位置にくる程度+10cmの長さにします。



水筒を肩からかけるときと同じくらいの長さで、縛ったり結んだりするための長さ(10cm程度)が必要です。

- 2 タオルハンカチの裏面中央にボタンを配置し、表からヘアゴムで縛ります。



- 3 ヘアゴムの端と端を結んで輪にしたら完成です。



ウェブサイトでも紹介していきますが、先生方もお試してください。